

大 学 (問合せ先等)	学部 (学群・学域)	学科－専攻 (学類)	募集人員		推 薦 条 件					1 推 薦 人 数 制 限	選 考 方 法		2016年度入試日程			備 考		2015年度入試結果			
			入 学 定 員	推 薦 定 員	対 象 課 程	現 浪 区 分	成 績 基 準	特定条件・その他 ※奇数頁上【注】の前提条件に該 当する内容は省略	C T 教 科 目		書 類 ・ 小 論 文 ・ 面 接 ・ その他	出 願 期 間	選 考 日	合 格 発 表	合否判定評価法（配点等）、 CT教科科目、新増設、 その他	志 願 者 数	合 格 者 数	競 争 率			
筑 波 大 学 ★教育推進部入試課 TEL.(029)853-6007 〒305-8577 茨城県 つくば市天王台1-1 -1 要項：〒300円 テレメールで請求 出願：郵送のみ	人文・文化	＜一般推薦＞ 人文	120	28	全	現役	△	次のいずれか。(1)4.3以上 または本学の個別学力検査 等に合格できる程度以上の 学力を有する者、(2)希望する 主専攻分野（哲学，史学， 考古学・民俗学，言語学） に関連する教科・科目にお いて優れた能力を持つ者	2	×	書類審査・小論文・面接（個別）	11.2 ～ 11.6	11.26 11.27 (2日)	12.9	(注)推薦条件②の場合は、 それを証明する客観的資料 があれば適宜添付のこと (注)小論文・面接における「採点・評価基準」は 要項確認	37	28	1.3			
		比較文化	80	20				次のいずれか。(1)人文学類 の(1)に同じ、(2)比較文化主 専攻に関わる分野において、 特に優れた能力を持つ者	2		書類審査・小論文 (①) 英文、(2)日本文)・面接（グループディスカ ッション）					34	21	1.6			
		日本語・日本文化	40	10				次のいずれか。(1)人文学類 の(1)に同じ、(2)旺盛な知的 好奇心や日本語・日本文化 を学ぶにふさわしい明確な 問題意識を持ち、専攻に関 わる分野において特に優れた 能力を持つ者	1		書類審査・小論文・面接（個別）					23	11	2.1			
	社会・国際	社会	80	16				次のいずれか。(1)人文学類 の(1)に同じ、(2)社会科学 （社会学，法学，政治学， 経済学）に関連する分野に ついて、明確な問題意識と 優れた能力を有する者	1		書類審査・小論文・面接（個別－口頭試問含 む）					50	16	3.1			
		国際総合	80	20				次のいずれか。(1)4.3以上、 (2)国際的に活躍できる資質 を有する者で、外国語または 理数系に優れた能力を持つ者	1		書類審査・小論文・面接（個別－日本語・英語による）					54	21	2.6			
		教育	35	7				次のいずれか。(1)4.3以上、 (2)教育または心理学について 問題意識を明確に持ち、 それに関連する自主研究や クラブ活動、社会活動等において 優れた実績を有する者	1		書類審査・小論文（出 典は英文）・面接（個別）					27	7	3.9			
	人間	心理	50	12					1		書類審査・小論文（出 典は英文）・面接（個別）					36	12	3.0			

大 学 (問合せ先等)	学部 (学群・学域)	学科－専攻 (学類)	募集人員		推 薦 条 件					1 推 薦 人 数 制 限	選 考 方 法		2016年度入試日程			備 考		2015年度入試結果		
			入 学 定 員	推 薦 定 員	対 象 課 程	現 浪 区 分	成 績 基 準	特定条件・その他 ※奇数頁上【注】の前提条件に該 当する内容は省略	C T 教 科 科 目		書 類 ・ 小 論 文 ・ 面 接 ・ その他	出 願 期 間	選 考 日	合 格 発 表	可否判定評価法（配点等）， CT教科科目，新増設， その他	志 願 者 数	合 格 者 数	競 争 率		
筑 波 大 学 (続)	人間	<一般推薦> 障害科学	35	15	全	現役	△	次のいずれか。(1)人文学類 の(1)に同じ，(2)障害科学に ついての問題意識を明確に 持ち，それに関連する自主 研究やクラブ活動，社会活 動等において優れた実績を 有する者 (注)推薦定員は障害者特別 入試（若干名）との合計	2	×	書類審査・小論文（出 典は英文）・面接（個 別）	11.2 ～ 11.6	11.26 11.27 (2日)	12.9	(注)推薦条件(2)の場合は， それを証明する客観的資料 があれば適宜添付のこと (注)小論文・面接における 「採点・評価基準」は 要項確認 (注)生物資源学科の推薦 定員は専門・総合学科特別 入試（若干名）との合計	24	14	1.7		
		生物	80	15				次のいずれか。(1)人文学類 の(1)に同じ，(2)生物や数学 に優れた能力を持ち，かつ 生物の学習や実験に意欲的 で，生物に関連する自主研 究や国際生物学オリンピッ ク（国内予選含む）等で実 績を有する者	2		書類審査・小論文・面接 （個別）					30	16	1.9		
	生命環境	生物資源	120	33				次のいずれか。(1)人文学類 の(1)に同じ，(2)理・数・英 のうち1教科に特に優れた 能力を持ち，かつ，本学類 に関連するクラブ活動，地 域活動，社会活動等において， 実績を有する者	2		書類審査・小論文・面接 （個別）					58	29	2.0		
		地球	50	10				次のいずれか。(1)人文学類 の(1)に同じ，(2)数・理・地 理のうち，少なくとも1教科・ 科目において，優れた能力 を持つ者	2		書類審査・小論文・面接 （個別）					21	10	2.1		
		理工	数学	40				10	次のいずれか。(1)人文学類 の(1)に同じ，(2)数学において 特に優れた能力を持つ者		2					書類審査・小論文（数） ・面接（個別）	27	10	2.7	
	物理		60	15				次のいずれか。(1)人文学類 の(1)に同じ，(2)数・理い ずれかにおいて，特に優れた 能力を持つ者	2		書類審査・小論文（物） ・面接（個別） (注)教科書3冊まで持ち込み可					33	15	2.2		
	化学		50	13				次のいずれか。(1)人文学類 の(1)に同じ，(2)化学において， 特に優れた能力を持つ者	1		書類審査・小論文（化） ・面接（個別）					24	13	1.8		

大 学 (問合せ先等)	学部 (学群・学域)	学科－専攻 (学類)	募集人員		推 薦 条 件					1 推 薦 人 数 制 限	選 考 方 法		2016年度入試日程			備 考		2015年度入試結果		
			入 学 定 員	推 薦 定 員	対 象 課 程	現 浪 区 分	成 績 基 準	特定条件・その他 ※奇数頁上【注】の前提条件に該 当する内容は省略	C T 教 科 目		書 類 ・ 小 論 文 ・ 面 接 ・ その他	出 願 期 間	選 考 日	合 格 発 表	合否判定評価法（配点等）、 CT教科科目、新増設、 その他	志 願 者 数	合 格 者 数	競 争 率		
筑 波 大 学 (続)	<一般推薦>	応用理工	120	16	全	現役	△	次のいずれか。(1)人文学類 の(1)に同じ、(2)数または理 の能力が抜群で、かつ、希 望する主専攻分野に対して 旺盛な好奇心を持つ者	2	×	書類審査・小論文（数 ・英を中心に評価）・ 面接（個別－自然現象 などについての説明や 議論含む）	11.2 ～ 11.6	11.26 11.27 (2日)	12.9	(注)推薦条件②の場合は、 それを証明する客観的資料 があれば適宜添付のこと (注)小論文・面接におけ る「採点・評価基準」は 要項確認（全学群共通） (注)社会学類の主専攻 分野に関連する問題→社 会経済システム主専攻＝ 社会や経済に関する諸問 題、経営工学主専攻＝経 営上の諸問題や経営計画 における数学的手法、都 市計画主専攻＝地域・都 市・環境に関する諸問題	32	16	2.0		
		工学システム	130	20				次のいずれか。(1)人文学類 の(1)に同じ、(2)数・理の能 力が卓越しており、論理的 な思考力とその表現力に優 れている者	2		書類審査・小論文（数 ・理・英の基礎力に基 づく）・面接（個別）				49	20	2.5			
		社会工	120	20				次のいずれか。(1)文系・理 系を問わず4.3以上、(2)数 ・英に優れた能力を持ち、 希望主専攻分野に関連する 問題について強い関心を持 ち、その分野で一定の成果 を挙げた者(注)	2		書類審査・小論文（現 代社会の課題や動きに 関連する設問）・面接 （個別－口頭試問含む）				40	21	1.9			
	情報	情報科学	80	10				次のいずれか。(1)人文学類 の(1)に同じ、(2)論理的思考 力と表現力に優れ、豊かな 発想ができる者	2		書類審査・小論文・面 接（個別－数の口頭試 問含む）				26	11	2.4			
		情報メディア創成	50	8					2		書類審査・小論文・面 接（個別－数の口頭試 問含む）				20	8	2.5			
		知識情報・図書館	100	20				次のいずれか。(1)人文学類 の(1)に同じ、(2)知識や情報 に対して明確な問題意識を 持ち、それらに関する自主 研究やクラブ活動、社会活 動において優れた実績を有 する者	2		書類審査・小論文・面 接				45	20	2.3			
	医	医	127	36				次のいずれか。(1)4.3以上、 (2)全教科がバランスよく優 れている上に、英および理 数系特に数・理（物・化・ 生のうち2科目）の能力が 抜群で、医師となる資質が 十分と考えられる者	1～3 (注)		書類審査・小論文（英 ＜読解力・作文力＞・ 数・理＜物・化・生か ら2科目＞）・面接（個 別）				(注)推薦人数→過去3年 間の推薦入試・個別学力 検査等の入学者数の合計 が2名の場合は2名以内、 3名以上の場合は3名以内 (注)推薦条件②の場合は、 それを証明する客観的資料 があれば適宜添付のこと	188	36	5.2		

大 学 (問合せ先等)	学部 (学群・学域)	学科－専攻 (学類)	募集人員		推 薦 条 件					1 推 高薦 校人 数制 限	C T 教科 科目	選 考 方 法		2016年度入試日程			備 考		2015年度入試結果		
			入 学 定 員	推 薦 定 員	対 象 課 程	現 浪 区 分	成 績 基 準	特定条件・その他 ※奇数頁上【注】の前提条件に該 当する内容は省略	書 類 ・ 小 論 文 ・ 面 接 ・ その他			出 願 期 間	選 考 日	合 格 発 表	合 否 判 定 評 価 法 (配 点 等) C T 教 科 科 目 ， 新 増 設 ， そ の 他	志 願 者 数	合 格 者 数	競 争 率			
筑 波 大 学 (続)	<一般推薦> 看護		70	25	全	現役	△	次のいずれか。(1)人文学類 の(1)に同じ，(2)看護に関連 する分野について，明確な 問題意識と優れた能力を有し， クラブ活動，地域活動， 社会活動等（看護に関する ものである必要はない）に おいて，実績を有する者	2	×	書類審査・小論文（(1) 和文，(2)英文）・面接 （個別）	11.2 ～ 11.6	11.26 11.27 (2日)	12.9	(注)推薦条件②の場合は， それを証明する客観的資料 があれば適宜添付のこと (注)小論文・面接における 「採点・評価基準」は 要項確認	73	25	2.9			
		医療科学	37	12				次のいずれか。(1)人文学類 の(1)に同じ，(2)医療科学に 関連する分野について，明 確な問題意識と優れた能力 を有し，特に数・理（物・ 化・生のうち2科目）およ び英の能力に優れている者	2		書類審査・小論文（(1) 英文，(2)和文）・面接 （個別）					34	13	2.6			
	体育専門		240	84			×	1つの運動種目に抜群の技 能を有し，かつ，本学群に おける十分な修学力を備え， 将来健康・体育・スポーツ の分野で活躍が期待できる 者で，次のいずれか。(1)国 際大会等に日本を代表して 選抜された者，(2)全国的な 大会等で16位以内の成績を 修めた者，(3)前記と同等程 度の水準にあると認められ る者	4 (注)		書類審査・実技・小論文 （設問と論述・600 字）・面接（個別） (注)実技種目→体操競技， ダンス，陸上競技，水泳， ハンドボール，バレーボ ール，バスケットボール， サッカー，ラグビー，硬 式野球，硬式テニス，卓 球，バドミントン，柔道， 剣道，弓道					(注)推薦条件を証明する 客観的資料を必ず添付の こと (注)実技・小論文・面接 における「採点・評価基 準」は要項確認 (注)推薦人数→同一実技 種目は2名以内（男子種 目と女子種目は別種目扱 い）	132	93	1.4		
		芸術専門		100				35	△		次のいずれか。(1)4.3以上， (2)志望する主専攻分野（芸 術学，美術，構成，デザイ ン）で優れた資質または能 力を持つ者				4 (注)	書類審査・実技（主専 攻ごとの実技内容は要 項確認）・面接（個別）		(注)推薦条件②の場合は， それを証明する客観的資料 （作品写真等）があれば 適宜添付のこと (注)実技・面接における 「採点・評価基準」は要 項確認 (注)推薦人数→同一実技 科目は2名以内	165	35	4.7

大 学 (問合せ先等)	学部 (学群・学域)	学科－専攻 (学類)	募集人員		推 薦 条 件				1 推 薦 人 数 制 限	選 考 方 法		2016年度入試日程			備 考		2015年度入試結果		
			入 学 定 員	推 薦 定 員	対 象 課 程	現 浪 区 分	成 績 基 準	特定条件・その他 ※奇数頁上【注】の前提条件に該 当する内容は省略		C T 教 科 目	書 類 ・ 小 論 文 ・ 面 接 ・ その他	出 願 期 間	選 考 日	合 格 発 表	合否判定評価法（配点等）、 CT教科科目、新増設、 その他	志 願 者 数	合 格 者 数	競 争 率	
筑 波 大 学 (続)	生命環境	<専門・総合学科特別入試> 生物資源	120	若干	農業 工業 商業 水産			特になし (注)総合学科は専門に関する 教科・科目25単位以上の 修得者	－		書類審査・小論文・面 接	11.2 ～ 11.6	11.26 11.27 (2日)	12.9		7	3	2.3	
		<障害者特別入試> 障害科学	35	若干		現役	×	次の全条件。(1)特別支援学 校の就学基準に該当する障 害を有する者、(2)各科目に おいて成績優秀な者、(3)障 害科学に対する高い学習意 欲を有する者、(4)障害者の 高等教育における学習環境 の改善について、当事者と して協力する意志を有する 者、(5)合格後入学までの事 前指導等に参加できる者、 (6)障害者としての自立に高 い意欲を持ち、自立的な態 度で生活している者	1	×	1次＝書類審査（課題 レポート含む） 2次＝小論文・面接 （個別）	11.2 ～ 11.6	<1次> － <2次> 11.26	11.13 12.9	(注)課題レポート→読解 力、国語力、障害科学への 意欲等をみる (注)小論文→障害科学に 関する英語による課題を もとに、日本語で論述。 英語の読解力、日本語に よる論述の論旨の明確性、 論理性等を評価する (注)面接→障害科学を主 体的に学ぶ意志、障害者 としての自立の意欲等の 評価、並びに課題レポー トや提出書類に関する質 疑応答を基に総合的に評 価する	7	2	3.5	
	人間				全														
	医	<地域枠推薦> 医	127	22		1浪	4.3	次の全条件。(1)茨城県内の 高校出身者または保護者が 出願期間の最終日において 茨城県に1年以上居住する 者、(2)将来、茨城県の地域 医療に貢献する熱意と能力 を有する者、(3)全教科がバ ランスよく優れている上に、 英・数・理（物・化・生の うち2科目）の能力が抜群 で、医師となる資質が十分 と考えられる者、(4)茨城県 地域医療医師修学資金貸与 制度に基づく調査書を提出 できる者	－		書類審査・小論文（英 ＜読解力・作文力＞・ 数・理＜物・化・生か ら2科目＞）・面接（個 別）	11.2 ～ 11.6	11.26 11.27 (2日)	12.9	(注)小論文→英・数・理 に関する総合的学力を測 定するとともに、論理的 思考力、表現力を評価す る (注)面接→医学を志向す る動機、修学の継続力、 適性、感性、社会的適応 力など総合的な人間性につ いて評価する (注)茨城県地域医療医師 修学資金貸与制度の詳細 は茨城県保健福祉部に照 会すること	81	13	6.2	